

都市交通における 環境的に持続可能な交通（EST）の 普及方策に関する研究

平成17～18年度自主研究成果報告

研究会メンバー（順不同）

山本俊行（名古屋大学）、倉内慎也（愛媛大学）

中村文彦（横浜国立大学）、松村暢彦（大阪大学）

磯丈男・堂前康（警察庁交通局）

松浦利之・英直彦（国土交通省都市・地域整備局）

飯塚秋成・河田敦弥・坂本慶介・坂本潤一郎・八木勝昌（国土交通省総合政策局）

飯野光則・井上隆司（国土交通省道路局）

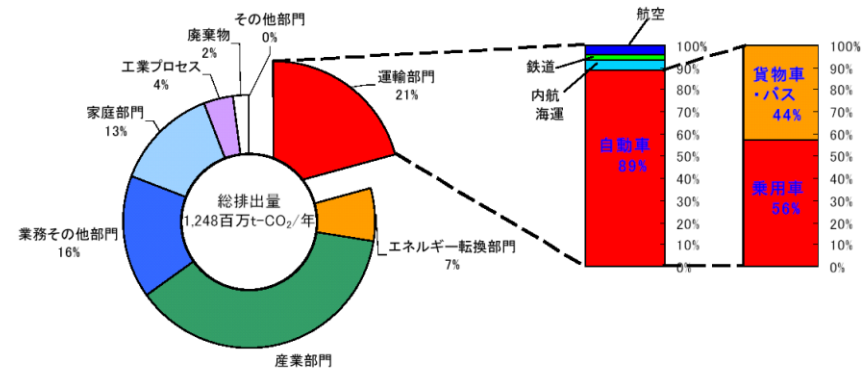
大野栄嗣・原田豊・林田理恵・深沢一雄（トヨタ自動車(株)）

高崎節夫（フォルクスワーゲングループ）、高岡一也（三菱重工業(株)）

矢部努（(財)計量計画研究所）、野地寿光・平石浩之（(株)日本能率協会総合研究所）

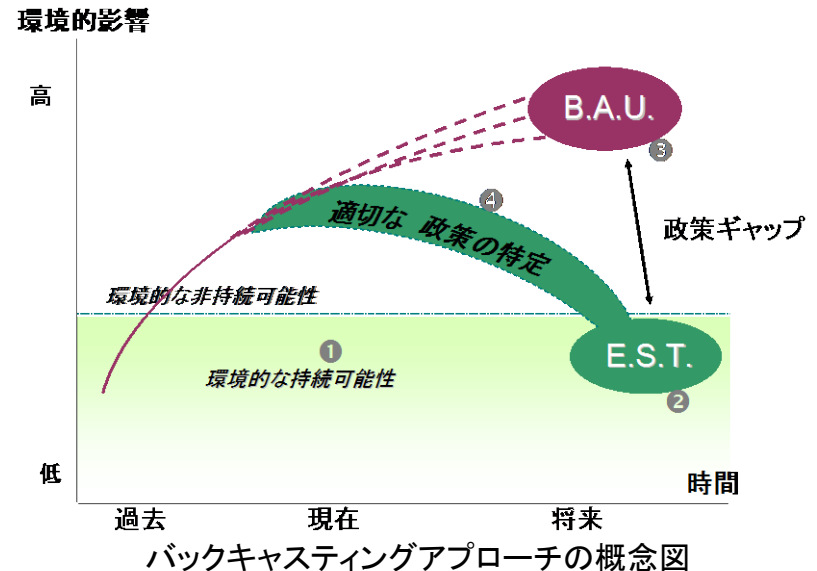
ESTの概念

- EST (Environmentally Sustainable Transport) :
OECDが提案する新しい政策ビジョンであり、長期的な視野で環境面から持続可能な交通ビジョンを踏まえて交通・環境政策を策定・実施する取組み



部門別二酸化炭素排出量と運輸部門排出量内訳 (2002年度)

- ESTアプローチ:
まずESTビジョンと長期的シナリオを策定し、そこからバックキャスティング (将来から現在を振り返る) によって実現可能な対策・戦略を決定する方法
 - B.A.U (Business as usual)
現状のまま推移の場合



ESTのための施策体系

構造的方略

需要量
の調整

・TDM

供給量
の増強

・道路網整備

EST

車両
改善

・低公害車
・代替燃料

心理的方略

・MM

ESTは幅広い施策を対象とする

本研究会の目的

2005年の京都議定書発効

- 2008～2012年に温室効果ガス排出量を基準年(1990年)比6%の削減必要
- 交通部門でも、環境的に持続可能な交通(EST)の取組みを進め、実効を伴う温室効果ガス排出削減の必要

普及定着に向けた知見やモデル事業の蓄積は不十分

各地方自治体がとりうるESTの事例検討・整理など、(仮称)「EST国内普及のススメ(案)」の作成に向け、産官学の研究者により研究を進める。

研究概要

- 平成17年度
 - 国内外の事例収集 5事例
 - ESTの事例検討・整理
- 平成18年度
 - ESTモデル事業実施都市の先行レビュー 4事例
 - CO2削減効果の算定手法の開発とCO2削減のために効果的な施策についての検討
 - 外部からの研究受託に連動した、検討の強化
 - 「ESTデータベース」の構築
 - 海外事例調査(スペイン・ブルゴス)
- 平成19年度以降
 - 研究展開検討小委員会としての活動継続
 - 海外事例調査(イギリス・クルー, フランス・パリ)
 - (仮称)「EST国内普及のススメ(案)」の作成

事例調査：都心部流入規制

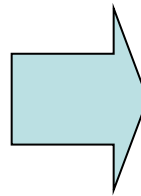
自動昇降式ボラードによる流入規制（ブルゴス）

- 時間帯によるきめ細かな流入規制
- ボラードによる規制の徹底
- ICカードによる許可車両の通行



事例調査：都心部流入規制

- 都心部商店主，物流事業者向けのミーティングを何度も開催しプロジェクトに対する理解を得ている。



(出典：地球の歩き方「スペイン」2007～2008年版)

事例調査：自転車共同利用

ブルゴスでの自転車共同利用システム

- 市内4箇所で2時間までの利用
- 利用料金無料で入会時ICカード作成の3ユーロのみ
- 自転車利用のきっかけ作りが目的, 市による費用負担



事例調査：自転車共同利用

パリでの都市型レンタサイクル「Velib」

- 10,000台750箇所という大規模，市内300m間隔
- 広告会社との契約により30分以内の利用は無料



事例調査：自転車共同利用

横浜でのレンタサイクル「ハマチャリ」

- 5箇所での貸し出し. 放置自転車の有効利用
- 1日1回500円
- NPOによる運営



事例調査：自転車共同利用

特徴

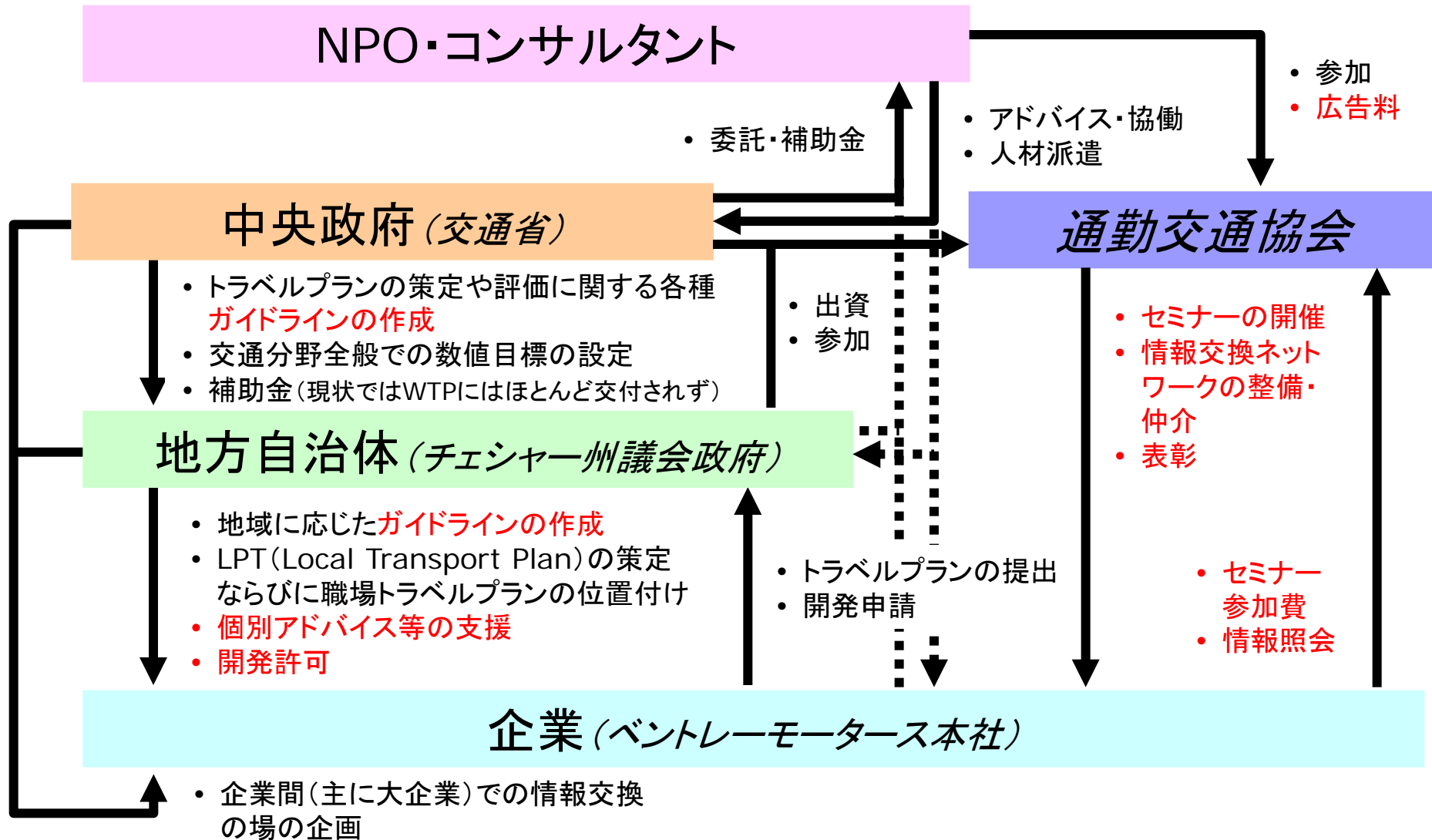
- ステーション間の片道利用が可能
- 海外では、ICカードやRFIDタグを用いた利用者・車両管理の自動化が進む

課題

- EST施策としての効果は未確定
 - パリでは10月に調査が予定されている
 - 自転車利用の習慣化など、より長期的な効果を待つべき？

事例調査：職場トラベルプラン

イギリスでの職場トラベルプランをめぐる体制



事例調査：職場トラベルプラン

通勤交通協会の役割①

- 交通省や地方自治体等の支援のもとACT米国を参考に1997年に設立
- 行政や企業, コンサルタントが主な会員
- 主な財源
 - 交通省の補助
 - 講習会参加費
 - コンサルタントからの広告料

事例調査：職場トラベルプラン

通勤交通協会の役割②

- 主たる業務
 - ウェブやMLによる情報提供・情報提供者の紹介
 - 講習会の企画・実施（職場トラベルプランに関する研修やトラベルプランコーディネータ育成のための専門コースなど）
 - ベスト・プラクティスの表彰
- 現在ではサステイナブル・トラベル全般に活動対象が広がりにつつある
- 本年、カナダ・ニュージーランドでもACTが設立される予定。日本でのACTの設立を切望。

データベースの構築

- ESTポータルサイトへ
上でのデータベースの
提供
 - EST普及推進委員会
 - <http://www.estfukyu.jp/>



Environmentally Sustainable Transport

ロゴマーク

Windows Internet Explorer

列サイト

EST 環境的に持続可能な交通 (EST) ポータルサイト

ご意見・お問い合わせ
サイトマップ
プライバシーポリシー

EST 普及推進事業とは EST を目指して EST データベース EST リンク集

EST 創発セミナー
浜松・福岡・岡山で開催!!
詳しくはこちら

環境的に持続可能な交通(EST) ポータルサイト

ESTメールマガジン
毎月、ESTに関連する寄稿や情報を配信します。
概要はこちら

国土交通省
警察庁
環境省
(社)日本民営鉄道協会
(社)日本自動車工業会
(社)日本バス協会

新着情報

ニュース/トピック

- 2007/10/23 米国橋梁崩壊事故に関する技術調査団の調査結果について【国土交通省】
- 2007/10/23 11月1日から「とよあいでんバス」が走り始めます【豊田市】
- 2007/10/22 ETCを付けなくても距離別料金を適用可能なシステムの検討【首都高道路局】
- 2007/10/18 『メコン地域陸路実用化実証走行試験』〜インドシナ半島物流を変える陸路物流の実用化へのチャレンジ〜【国土交通省】
- 2007/10/16 生産用部品輸送のための専用列車を増便【トヨタ自動車】
- 2007/10/10 天然ガス自動車『ミニキャブ パイフューエル』を新発売【三菱自動車】
- 2007/10/5 2006年度低公害車等の出荷台数実績の公表について【社団法人日本自動車工業会】

データベースの構成

	項目		内容
全体	データベース構築		<ul style="list-style-type: none"> ・カバーマップ ・事例整理様式
	システム形態		<ul style="list-style-type: none"> ・紙ベース体裁 ・Webへの公開
国内	ESTモデル事業地域 (選定年度)	H16, 17年度	・1,2年目の効果等の整理
		H18年度	(追加予定)
	国内その他	大都市(新施策)	名古屋市, 那覇市
		コンパクトシティの理念	(追加予定)
		観光関連	(追加予定)
海外	行政立案 インフラ整備型	主にBRT都市	ボゴタ(コロンビア), ソウル(韓国), ロサンゼルス(米国), オタワ(カナダ), ブリスベン(豪州)
	総合的な交通事業形態		(追加予定)
	中小都市		ノッティンガム(英国), ブルゴス(スペイン)
	企業主体(全国規模チェーンなど)		(追加予定)

ESTデータベース作成地域(国内)

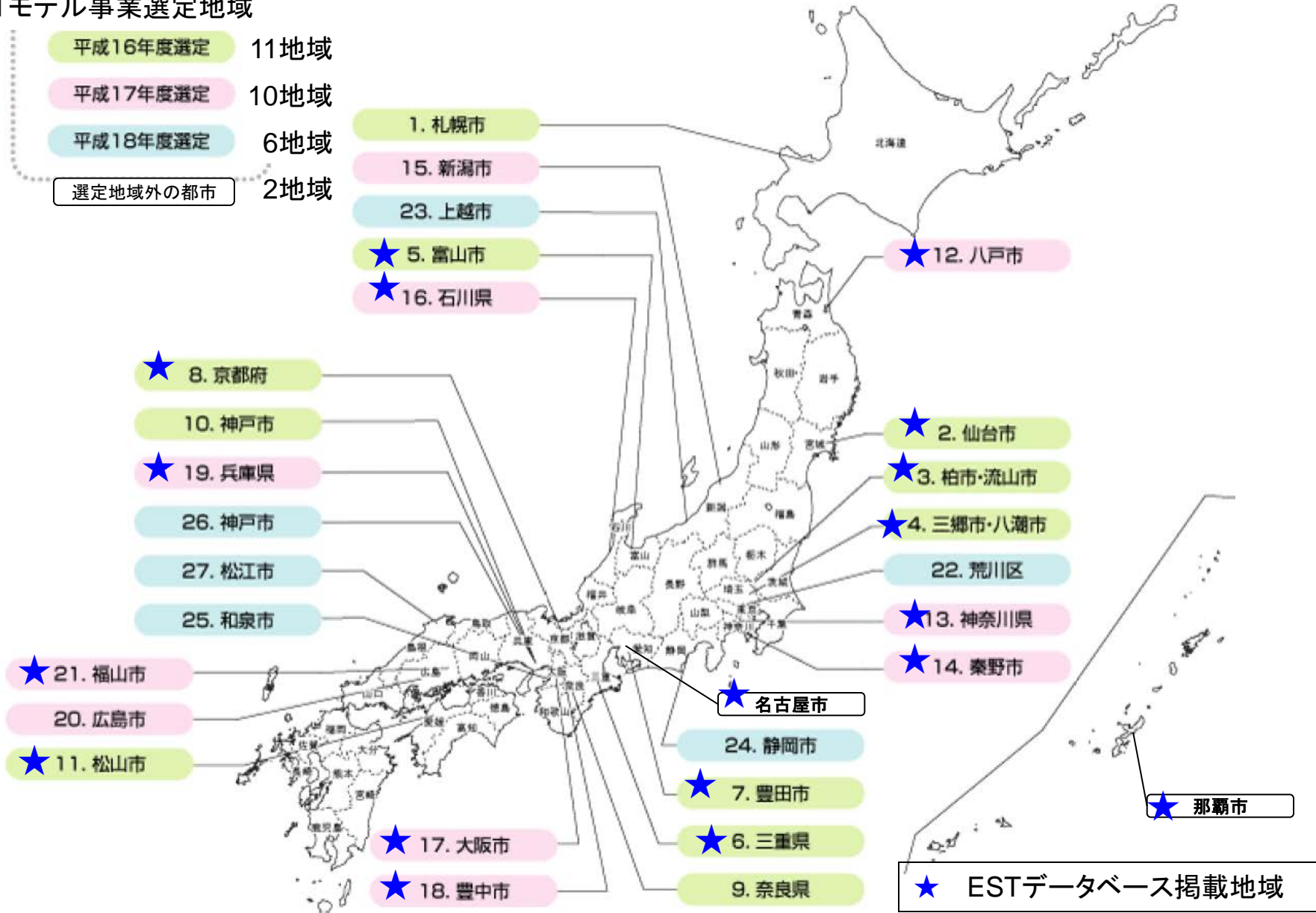
ESTモデル事業選定地域

平成16年度選定 11地域

平成17年度選定 10地域

平成18年度選定 6地域

選定地域外の都市 2地域



ESTデータベース作成地域(海外)



★ ESTデータベース掲載地域

事例整理様式

	項目
地域概要	対象国, 都道府県, 市町村
	地域概要: 人口, 面積
	交通特性: 交通手段分担率
取り組み	タイトル: 特徴を示す表題
	概要: 4~5行程度の概要
	上位計画での位置付け: 環境計画や総合交通計画での記載の有無, 対象年次, 目標値
	EST事業に係る目標値: 概算排出量
	取組手法: 実施施策の一覧表と個別取組の施策
効果	実施の効果
	効果検証手法の特徴: 速度変化の把握方法, 温室効果ガスの算出方法
評価	他都市導入のための留意点
連絡先	担当部署名, 連絡方法

今後の課題

- 日本版ESTの検討
 - 国交省モデル事業のメニューは十分か
 - 土地利用等により長期的なメニューの導入は
- CO2削減効果算定手法の検討
 - どれだけ精緻な測定が可能か, 必要か
 - 地方自治体等の主体が自ら算定できるか
- EST全体としての評価方法、指標
 - CO2だけでは無い
- ビジョンの示し方